

# 令和6年度 校内研修について

平戸市立平戸中学校

## 1 令和6年度の研究主題

『思考力・判断力・表現力の育成』  
～読解力の視点を取り入れた学習支援を通して～

## 2 主題設定の背景

### (1) 現状

指示がなかなか通らず、指示を出したあとに何度も同じ質問をする生徒がいる。テストなどで問題文の意味がわからず、問題文についての質問があったり、教科の内容を理解する前の段階で困り感を抱えていたりする生徒が一定数いる。また問題の内容がわかったとしても、記述する問題で自分の考えをうまく言葉にしたり、表現したりすることに苦手意識がある生徒もいる。

家庭学習など継続して取り組む生徒が少なく、取り組む生徒とそうでない生徒の格差が広がりつつある。

### (2) 昨年度の取組から

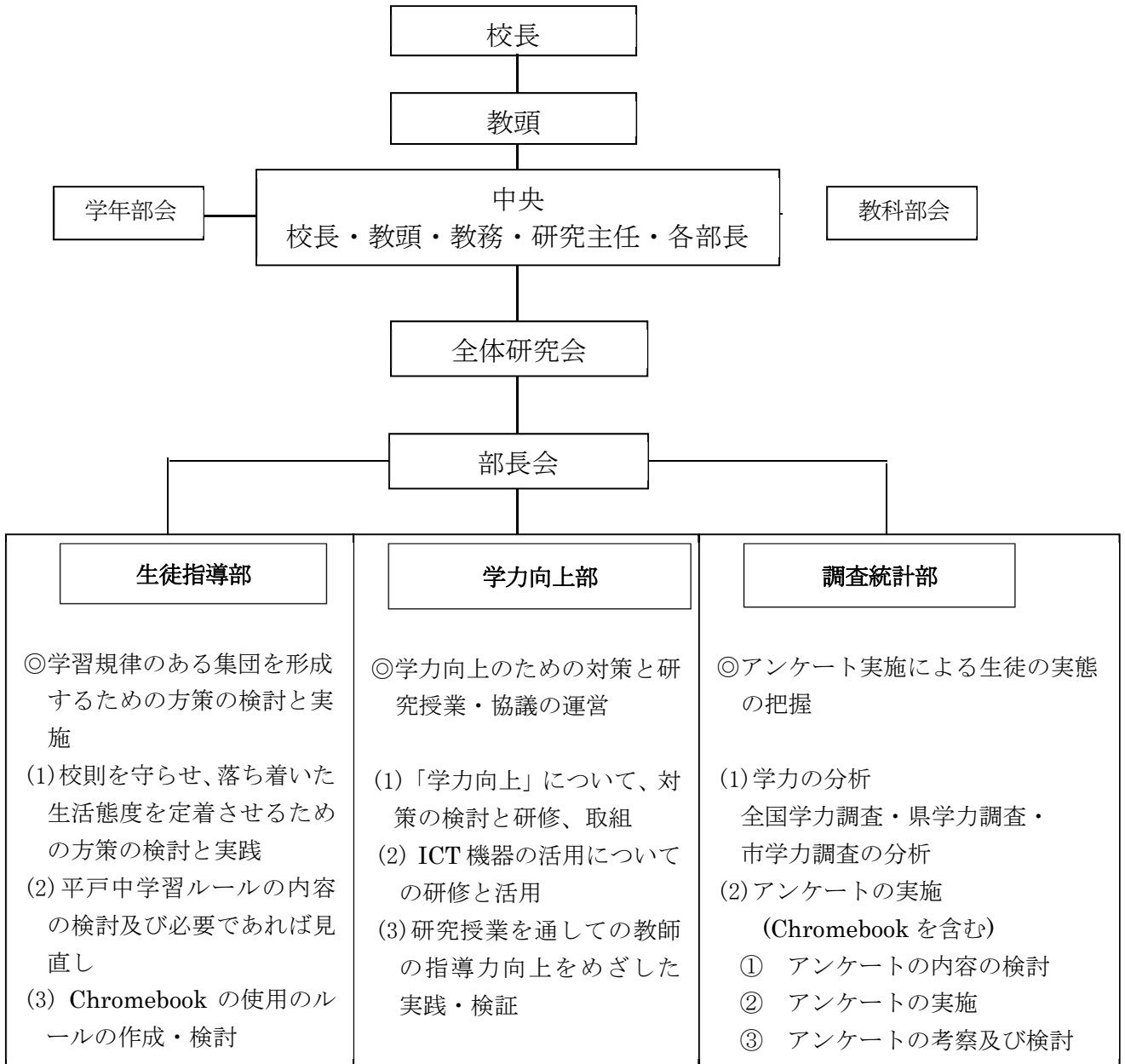
朝の取組、各授業での取組などの生徒の振り返りで、「文章の要旨が読み取りやすくなった。」、「問題を読んでから理解するまでが少し早くなったと思う。」、「テストのときに、より注意深く問題を読むようになった。」などの肯定的な意見が40%だった。残りの60%は、「変化がなかった。」という意見だった。その他の意見で、「今は変化がないかもしれないけど続けていけば変化があると思う。」という生徒の意見もあり、今年度も継続して、読解力の向上に取り組んでいきたい。また、昨年度の取組の中で、問題文を読むことはできているが、その問題文を理解するという点で課題を感じ、今年度は、問題文などを読むだけでなく、「読んで内容を理解する力」を育成していく。

### (3) 理想とする生徒像

- 問題をしっかり把握することや教師の指示・話をしっかり理解することができる生徒（聞くこと・読むこと）
- 自分の考えを自分の言葉や文章などで表現できる生徒（話すこと・書くこと）
- 継続して、学習に取り組める生徒

すべての土台となる「読解力」を高めて、理想とする生徒像に近づけたい。

### 3 研究組織



#### 学年所属 (令和6年度)

	生徒指導部 部長：福田	学力向上部 部長：瀬尾	調査統計部 部長：前田
1年			
2年			
3年			

## 4 年間計画

一学期	4月：校内研修流れ、研究主題テーマ、年間計画などの提案（研究主任） 5～6月：研究授業＋全教職員による授業研究会 7月：振り返り
夏季休業	8月：緊急時の対応研修 QUの分析と研修 ICT活用研修 学力向上プラン作成
二学期	9～11月：研究授業＋全教職員による授業研究会 12月：振り返り
三学期	1～2月：研究授業＋全教職員による授業研究会 3月：R6年度校内研修まとめ、次年度校内研修検討

## 5 主な取組

### (1) 研究授業について

- ① 研究授業＋全教職員による授業研究会（学期に1回）
- ② 研究授業（1人1回／年）

### (2) 授業での取組

#### (ア) 「めあて（課題）」と「まとめ」が生徒に届く授業

「めあて」によって学習の見通しをもち、本時の学習を通して、「何がわかったか」「何ができるようになったか」「何を考え、何を学んだか」などを振り返ったりまとめで確認したりして、学習した内容の定着を図る。

#### (イ) 読解力の視点を取り入れた授業

読解力の6つのスキルを向上させるために、6つのスキルのうちどれか最低1つ向上させる取組を授業に盛り込む。

<6つのスキル> → 長崎県読解力育成プランを参考

- ① 係り受け解析 … 文の基本構造（主語・述語・目的語など）を把握する力
- ② 照応解決 … 指示代名詞が指すものや、省略された主語や目的語を把握する力
- ③ 同義文判定 … 2文の意味が同一であるかどうかを正しく判定する力
- ④ 推論 … 既存の知識と新しく得られた知識から、論理的に判断する力
- ⑤ イメージ同定 … 文章を図やグラフと比べ、内容が一致しているかどうかを認識する力
- ⑥ 具体例同定 … 言葉の定義を読んで、それと合致する具体例を認識する力

#### (ウ) 特別支援教育の視点を取り入れた授業

（参考：岡山県教育委員会『“通常の学級における”「特別支援教育」の視点を取り入れた授業づくり』）

##### ① 授業全体を通して

- ア. 生徒の学習状況に応じて、「聞く」、「書く」などの活動を使い分ける工夫をしているか
- イ. 板書を書き写したり、メモを取ったりするのが難しい生徒への支援の手立てを考えているか。

②導入の場面

ア. 学習課題（めあて）を黒板に提示しているか。

イ. 集中力が続かなかったり、学習の手順がつかみにくかったりする生徒への支援の手立てを考えているか。

③一人で考える（活動する）場面

ア. 考える視点や道筋を示しているか。

イ. 生徒のつまづきのパターンを把握して、そのパターンに応じた支援の手立てを考えているか。

④グループで活動する場面

ア. 活動の目的や手順を生徒に示しているか。

イ. 活動に参加しにくい生徒への支援の手立てを考えているか。

⑤発表・話合いの場面

ア. 学年や時期、定着度に合わせて発表の話型を変えて示しているか。

イ. 発表を聞けない生徒や、話し始めたら止まらない生徒への支援の手立てを考えているか。

⑥まとめの場面

ア. 学習した内容が明確になるように、生徒が確認したり、振り返ったりする場を設けているか。

イ. 確認したり、振り返ったりするのが難しい生徒への支援の手立てを考えているか。

(3) 今後の予定

☆ 帯の時間（金曜日の朝活動）での、読解力を図る問題に取り組む

☆ 例文集の作成と活用

○ リーディングスキルテスト（RST）を実施し、読解力の程度を図る

○ 家庭学習の質の向上を目指す取組